

進め方のポイント

いきいき運転・いきいき生活

ポイント **1** (話し合う) 違う意見、共感する意見から学ぶ

ポイント **2** 年齢を重ねるとともに現れる心身の変化を補う工夫を生かす

ポイント **3** 高齢者が起こしやすい交通事故の特徴を覚える

その他のプログラム例

交通脳トレ

+

いきいき運転 いきいき生活

- ・健康と運転の関係
- ・**運転の衰えを補う
(補償運転の促し)**
- ・免許を返上した後の対応

1 いきいき運転・いきいき生活 レベル1

1 いきいきと生活する人ほど、 長生きできることを信じますか？

★今日の集まり・早わかり★

目的	家に閉じこもらず、外出しているいろいろな活動に参加することが健康・長寿の秘訣であること、活動的な方ほど交通安全を学ぶ意欲が高いことが最近の研究でわかってきています。みなさんが外に出て参加されている地域の活動について、情報を交換し合って、仲間とのふれあいを深めましょう。
効果	運転力 ① 仲間を大切に思う気持ちが、安全を守ろうという気持ちにつながる。 気づき力 ② 活動的な暮らし方が交通安全への意識を高めることを知る。 コミュニケーション ③ 仲間との交流でいきいきした気分になる。地域活動への参加が広がる。 脳機能 ④ 話し合いを通して脳が活性化する。
時間割の目安	▼約1時間20分(準備、あとかたづけを除く) ○準備 10分 ①リーダーあいさつ 10分 ②交通脳トレ 10分 ③いきいき運転・いきいき生活のための話し合い 50分 (途中休憩あり) ④リーダーまとめ 10分 ○あとかたづけ 10分



あらかじめ用意しておくこと

【リーダー・班長】

- 「ワークシート みなさんへの質問」に、ご自身の活動内容を整理しておきましょう。
- 「今日、話し合うための台本」と「今日、覚えてほしいこと」に目を通し、内容を把握しておきましょう。
- いろいろな地域の活動に参加したい方のために、地元の役所、社会福祉協議会、また老人クラブの事務局などに連絡を取り、現在行われている地域の活動や新しく計画中の地域の活動を調べておきましょう。

【教材など】

- リーダー・班長用：班長用にP4～13をすべてコピー(班長の人数分)
レポート用紙など(まとめるために) ホワイトボードまたは黒板
- 受講者用：「ワークシート」(P5)のコピー(人数分) ※白黒コピー可
「今日、覚えてほしいこと」(P6～7)のコピー(人数分) ※白黒コピー可
別冊子「交通脳トレ3ヵ月」(2枚1組)のコピー(人数分) ※コピー方法は問題集参照
お茶(ペットボトル)(人数分) 筆記用具(持参していただくか人数分用意)

交通脳トレ

+

ビデオ 自分の運転を振り返る

10 自分の運転を振り返る レベル1

ワークシート

運転の自己評価

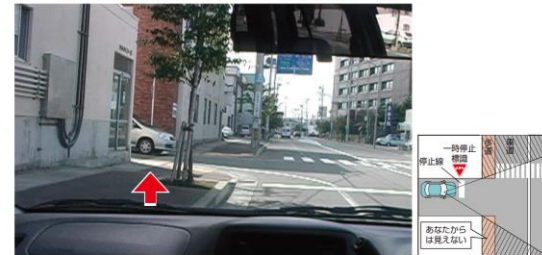
信号機のない交差点の通過



お名前 _____

問1 運転の自己評価

あなたは写真左の四輪車に乗って、一時停止標識と停止線のある細い道から、2車線道路に出ようとしています。(下の平面図参照)
こういう交差点であなたはきちんと止まって、安全を確認していますか？
100点満点で、あてはまる点数に○をつけてください。



私の運転は	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100点	
	通過してしまっ	いつも止まらな	通過する	しばしば止まら	す、よく見ずに	すのりでも通過	たまに止まらな	よく見ずに通過	す	だいたい止まっ	る	いつも止まっ
	て	い		す	す		い	す		て		て

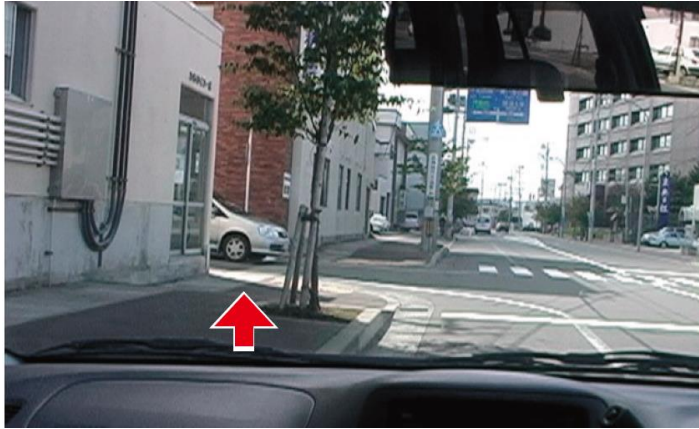
問2 確認しましょう／一時停止標識と停止線のある信号機のない交差点の安全な通過方法 どのようにすれば安全に通過できるでしょうか？

問3 ビデオを見る 停止線で止まった車の数を確認しましょう。

問4 ビデオを見た後の感想 ビデオを見てどんな感想を持たれましたか？

ビデオ

■ 信号機のない交差点の通過



■ 車間距離のとり方、車線変更の仕方



■ 信号機のない交差点での右折のタイミング



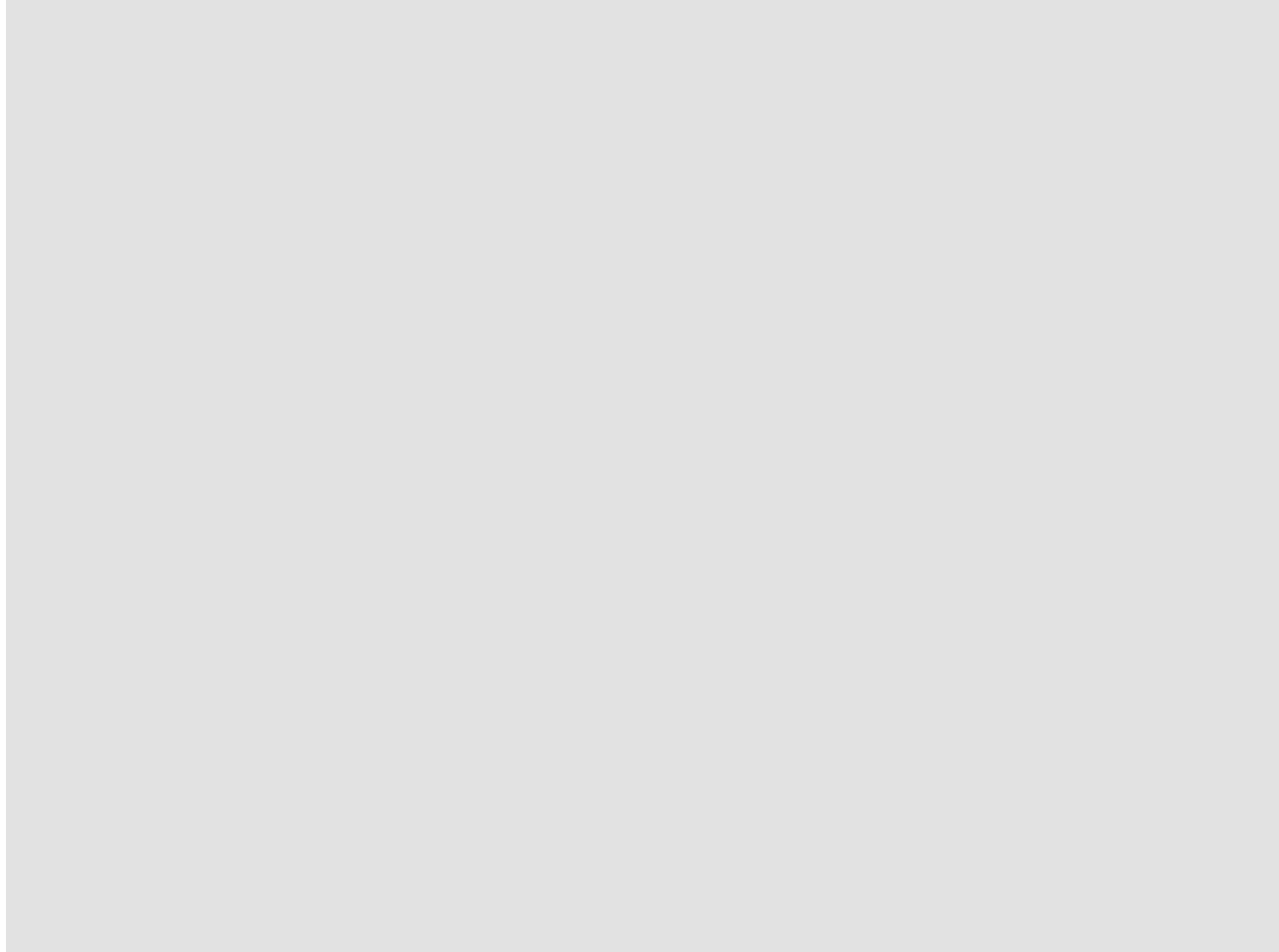
■ 視線の移動



問3

ビデオを見る

停止線で止まった車の数を確認しましょう。



問5

ビデオの解説編を見る

みなさんと話し合きましょう。

映像スタート

問5 解説編

交通脳トレ

+

危険予知トレーニング

- ・見えている危険 ○
- ・見えていない危険 △
- ・6ケース

ワークシート 危険予知 1 問題

ケース
コヒ

お名前

あなたは前方の国道に左折して合流するため、
狭い一方通行の道を走っています



写真は、あなたが運転席から見ている場面です。

- ① 正面の国道にはタンクローリーが見えます。
- ② よく見ると、国道の手前の電柱そばに一時停止標識があり、「事故多し、止まれ」の立て看板も立っています。右側にはカーブミラーも見えます。
- ③ 国道の車線に沿って歩道があるようです。
- ④ 右側の駐車場には車が数台見えます。左側にも止まっている車があります。
- ⑤ 左側の塀ぎわに自転車が1台止まっています。

あなたなら、どんなことに注意してこの狭い道を進みますか？

- ✂ 「見えている危険」(動きに注意しなければいけないもの)に赤ペンで○をつけてください。
- ✂ 「見えていない危険」(潜んでいる危険)に赤ペンで△をつけてください。

🚗 車を運転しない方 → 助手席に座っている立場からお答えください。

🚲 自転車や原付を利用する方 → 自転車や原付で走っているつもりで、この問題を考えてください。

交通脳トレ

+

危険予知トレーニング

- ・交通場面を地図とミニカーで再現



交通脳トレ

+

ヒヤリ地図をつくる



応用編

交通脳トレ

+

ヒヤリ地図をつくる

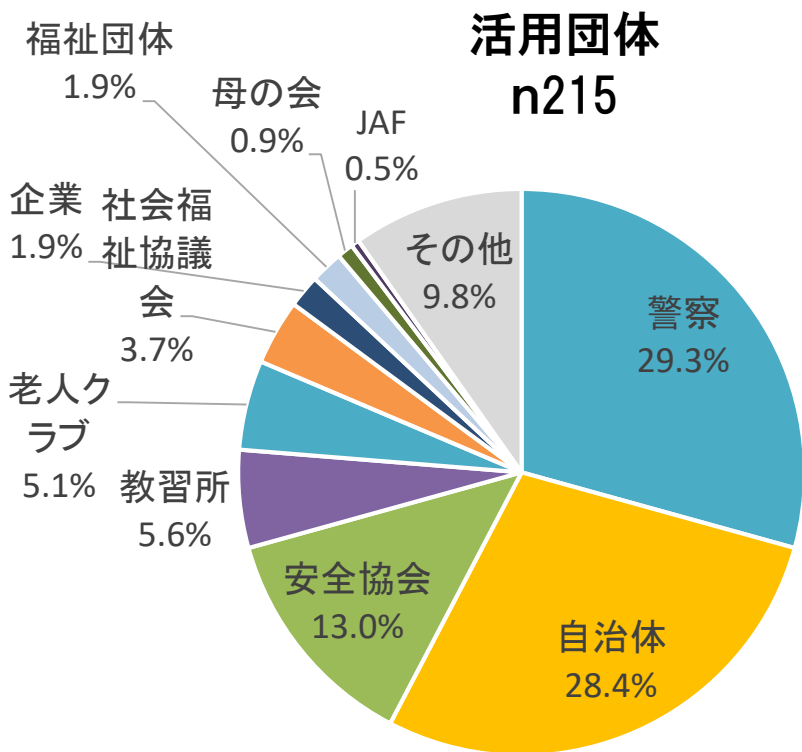
+

交通観察



教材の活用状況

教材を申し込んだ団体へのアンケート調査より



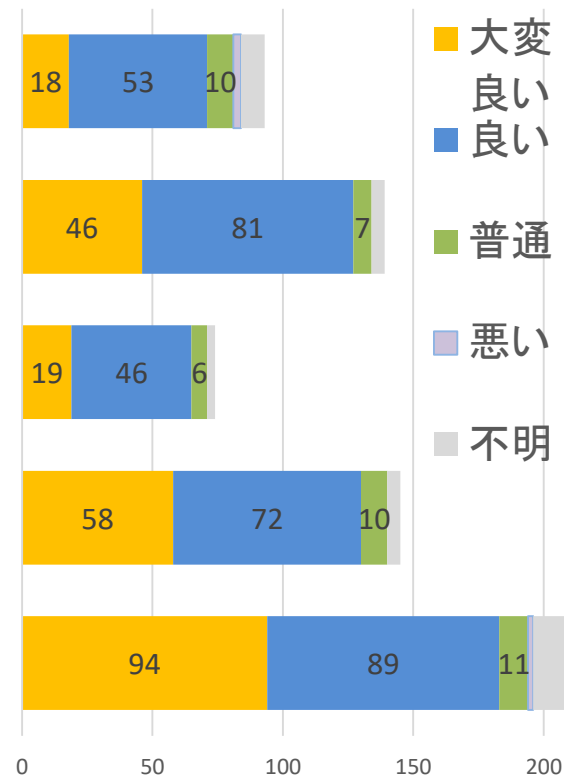
実施したトレーニングと参加者の反応 複数回答 n215

いきいき運転・いきいき生活

危険予知トレーニング

ヒヤリ体験を生かす
自分の運転を振り返る

交通脳トレ

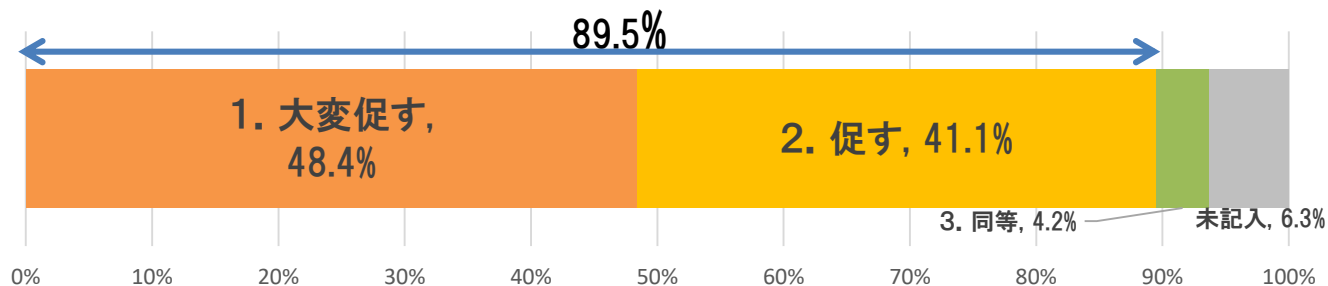


小グループのディスカッションの効果

—指導者アンケートより 2019年11月 n=95

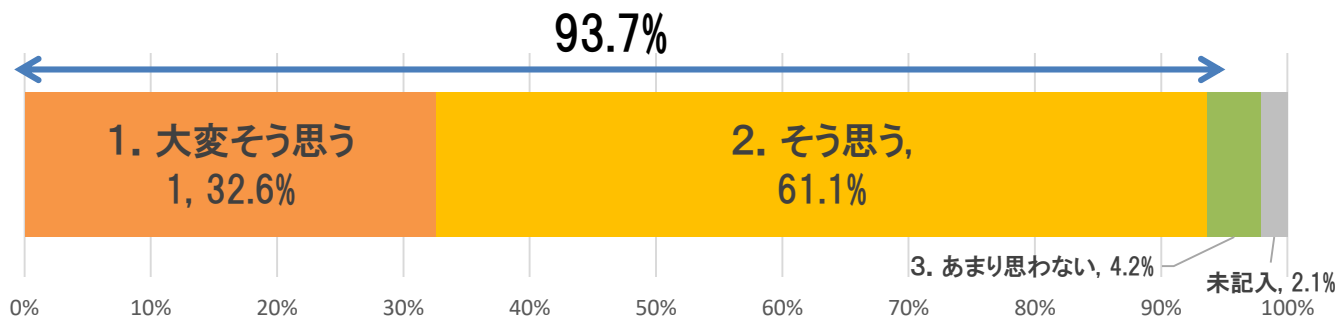
●ディスカッションは「気づき」を促す 90%

参加者がディスカッションする手法は、
従来手法より「気づき」を促すと思いますか？



●「いきいき運転講座」のような 高齢者主体の講習会は普及すべき 94%

このような高齢者が主体となった講習会を
今後もっと普及すべきと思いますか？



話し合いの効果は

- 自分の意見をいい、人の意見を聞く中で、
学び合い、「気づき」や「発見」がある
- 1人では無理でも、グループで話し合えば、
みんなの知恵が集まって、指導者が伝えたい
と思っていることが、考えだせる
 - ★指導者は足りない意見を補う
- 自分たちで考え、見つけた答えは忘れない

よくある質問

- **高齢者は本当に交通安全について話せるの？**
 - ・交通参加者としての長い経験
 - ・わいわいがやがやと楽しい交流ができる
- **高齢者は「班長」になって、話の進行役ができる？**
 - ・先生、管理職、地域の世話役経験者をお願いする
 - ・会議の要領で進める
- **おもしろそうだけど、もっと短時間でできないの？**
 - ・指導者vs受講者全体の話し合いに

30分でできる！「いきいき運転講座」

指導者 VS 参加者全員の対話で進める

★「好事例」集をごらんください

実施例

[高齢者]

- シニアドライバースクール(年50回) JAF
- 高齢者交通安全教室(年1、2回)
- 交通安全大学(10回講座) 岡山県児島交通安全協会
- 市民講座(5回講座) 京都府田辺警察署

[壮年、子ども]

- 社員教育 JAF福岡
- 安全運転管理者教育 埼玉県警
- 小学生、中学生の授業 小樽市、秩父市

活力のある地域社会の中に「交通安全」を

●教材セットを日本自動車工業会HPでご提供

1. お試しセット

- ・ビデオを使った「自分の運転を振り返る」2ケース
- ・交通脳トレ1日分
- ・パワーポイント説明資料(ビデオ入り)



2. 全教材入り

- ・12の交通安全トレーニング
- ・交通脳トレ3カ月分・好事例集など



●「好事例」を地域活動のご参考に

ありがとうございました

